



## 「ヤングケアラー支援モデル事業」を実施します

大府市は、近年課題となりつつあるヤングケアラー（本来大人が担うことが想定される家事等を日常的に行う子ども）の課題に積極的に取り組むため、愛知県からの事業委託により「ヤングケアラー支援モデル事業」を実施します。

関係機関との連携体制を基盤とし、市独自提案や地域の特性を活かしながら課題の早期発見・早期支援開始に向けた取り組みを企画、実施します。また、モデル事業の成果を県内の他市町村にも展開しつつ、ヤングケアラー支援施策の充実に努めていきます。

### ■ヤングケアラー支援事業の概要（補正予算額 335万8千円）

子どもが子どもらしく生活し、子どもの人権を守ることができることを目的とし、本来大人が担うべき家事等を行っている子どもとその家族に対する「ヤングケアラー支援」を創意工夫を凝らして積極的に展開していきます。

1. 令和4年11月1日から令和7年3月まで、以下の4つの支援の方向性に基づき、関連事業を実施する予定です。

- (1) 「知る」ヤングケアラーに関する正しい理解の促進を行います。
- (2) 「相談する」子どもが相談しやすい環境づくりを行います。
- (3) 「見つけて支援する」早期発見・把握から福祉サービスへのつなぎを行います。
- (4) 「寄り添う」地域におけるヤングケアラーへの生活支援を行います。

【市独自提案】小中学生及び小中高校教職員へのアンケート調査を実施します。

2. 事業実施に向けて以下の2つの事業を本年度に実施します。

(1) 支援コーディネーターの配置

事業の中心的な役割を担うコーディネーターに正規職員を充てるとともに、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師、公認心理師、学校心理士、教員等の有資格者を新たに配置します。

(2) 企画委員会の設置

地域の特性やヤングケアラーのニーズを踏まえた事業計画の検討、進捗状況を確認するために関係部署、関係機関による多機関で構成する企画委員会を設置します。

### ■参考資料 課題を踏まえた支援の方向性（モデル事業の概要）

#### 【問い合わせ先】

大府市福祉総合相談室

担当：山下 智子（ヤマシタ サトコ）

電話：0562-45-6219 FAX：0562-47-3150 メール：sodan@city.obu.lg.jp

## 課題を踏まえた支援の方向性（モデル事業の概要）

### 知る（正しい理解の促進）

- ・ヤングケアラーの相談先を掲載したマンガ冊子  
を児童生徒に配布する。

市独自事業①子ども向けアンケート（小5・中2）  
②教職員向けアンケート（小・中・高）

### 相談する（相談しやすい環境作り）

- 子どもが立ち寄る場所での相談  
「学校」「児童（老人福祉センター）」「まなポート」
- フリーダイヤルでの相談、SNS等オンラインでの相談

### 見付けて支援する（早期発見・把握）

- ・広報おおぶ特集記事掲載
- ・研修会（住民向け、関係者向け）
- ・街頭啓発
- ・ガイドブックの作成（支援者向け）
- ・関係機関連絡調整会議（要保護児童対策地域協議会）

### 寄り添う（生活支援）

- ・コミュニティサロン等を通じて  
元ヤングケアラー等との交流促進
- ・ヤングケアラー本人への希望支援提供  
（疾病や障がい特性の理解、ケア能力の向上のため  
の支援実施等）